

六甲に
いばしとどまる
春入日 忠文

神戸市会議員

ただ ふみ

うらがみ忠文新聞

2020年
春夏の号

笑顔と拍手は、神戸の宝です。

三月八日から始まった観客の居ない大相撲春場所をご覧になりましたか。なんぼ力士が、がんばって勝負がついてもお客様の笑顔や拍手がないと、ここまで味気ないものかと、改めて思いました。各力士に何か粘りが無いように感じました。誰かが見てる！ということがないと、力士も私たちも力が湧いてこないのかもしれないですね。やっぱり世の中は、人がおっつてのものです。人は、世界の宝物です。

神戸で相撲をとっているのは、私たち市民です。市民が、がんばっているのは、私たちが市民も、市役所の笑顔や拍手がないと、場所は盛り上がりません。

行司や呼び出し、勝負検査役など、市役所の仕組みを整えるのは市議会の仕事です。春場所を経験して、市民と市役所が、がっぷり四つの良い関係になるには、市役所の笑顔、拍手、声かけ力が肝心と気づかせました。ありがとうございました。

うらがみ忠文

- ・1969年 慶應義塾大学法学部政治学科卒
- ・元 大丸神戸店「くじゃく通信」編集長
- ・元 神戸市立御影北小学校 PTA会長
- ・NPO 障がい者就労支援作業所 副理事長
- ・1995年 神戸市会議員初当選
- ・2019年 神戸市会議員7選

新型コロナウイルス感染！
医療産業都市 神戸の
腕の見せ所です。
世界のために、やります。



JR住吉駅山側・シーア玄関前。みなと銀行住吉支店東隣り。お気軽に！

●「うらがみ忠文ネットワーク」談話室

〒658-0051 神戸市東灘区住吉本町1-7-3 矢野ビル3F

TEL/FAX 078-841-1042 Eメール tadafumi@uragami.jp

うらがみ忠文

検索

●〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市会「つなぐ」議員団 浦上忠文発行 TEL 078-322-5849

【議会報告】

春の本会議、私の代表質問の要旨。

■なぜ、市民参画推進局を解体するのか！

震災後の神戸空港住民投票運動を経て、市民と行政の協働参画3条例が制定され、市民参画推進局が出来た。

「ひとりひとりの市民が主役のまち」という震災後の神戸のシンボルのような局だった。

私は、長年議会において、社会はお互い様で成り立つが、お互い様力が弱くなって来ているので、「市民参画推進局」を「市民参画お互い様局」に変更して、社会を元気にしよう！と、提案してきた。

来年度に、この局が解体されると聞いた。驚いた。理由は、何か。

★久元市長の答弁

市民の皆様の熱い運動の成果として「市民参画推進局」が出来て、17、8年たち、市民参画推進を求める考え方は、市役所のそれぞれの組織に根付いてきたが、社会には「無縁社会」「孤立」という状況も広がってきた。

この社会状況には、特定の局だけでなく、すべての局が新たな発想を得て、市民の参画を求めていくことが神戸の課題だ。

市民参画推進は、特定の局が行うのではなく、企画調整局の「つなぐ課」を「つなぐラボ」に発展させて、市民やNPO、企業、行政が、お互いを縦、横、斜めにつなぐこととした。「つなぐ」戦略に注目して下さい。

■三宮再整備の財政見通しについて。

昨年9月の決算議会で、「令和2年度の予算審議の時には、見通しを立てる」と発言されたが、今回の予算案では示されていない。

これでは、予算審査が出来ないではありませんか。

★油井副市長の答弁

三宮再整備は、神戸市の事業と、民間の開発事業があり、大がかりなものである。民間事業について、計画の遅れているものがあつた。

全体事業費や経済効果について、5月末には公表していきたい。

5名会派になり、質問時間が3倍に！ 45分になりました。気合を入れてまいります。 浦上忠文

